

Doxygen 使い方

作成日: 2017/12/8

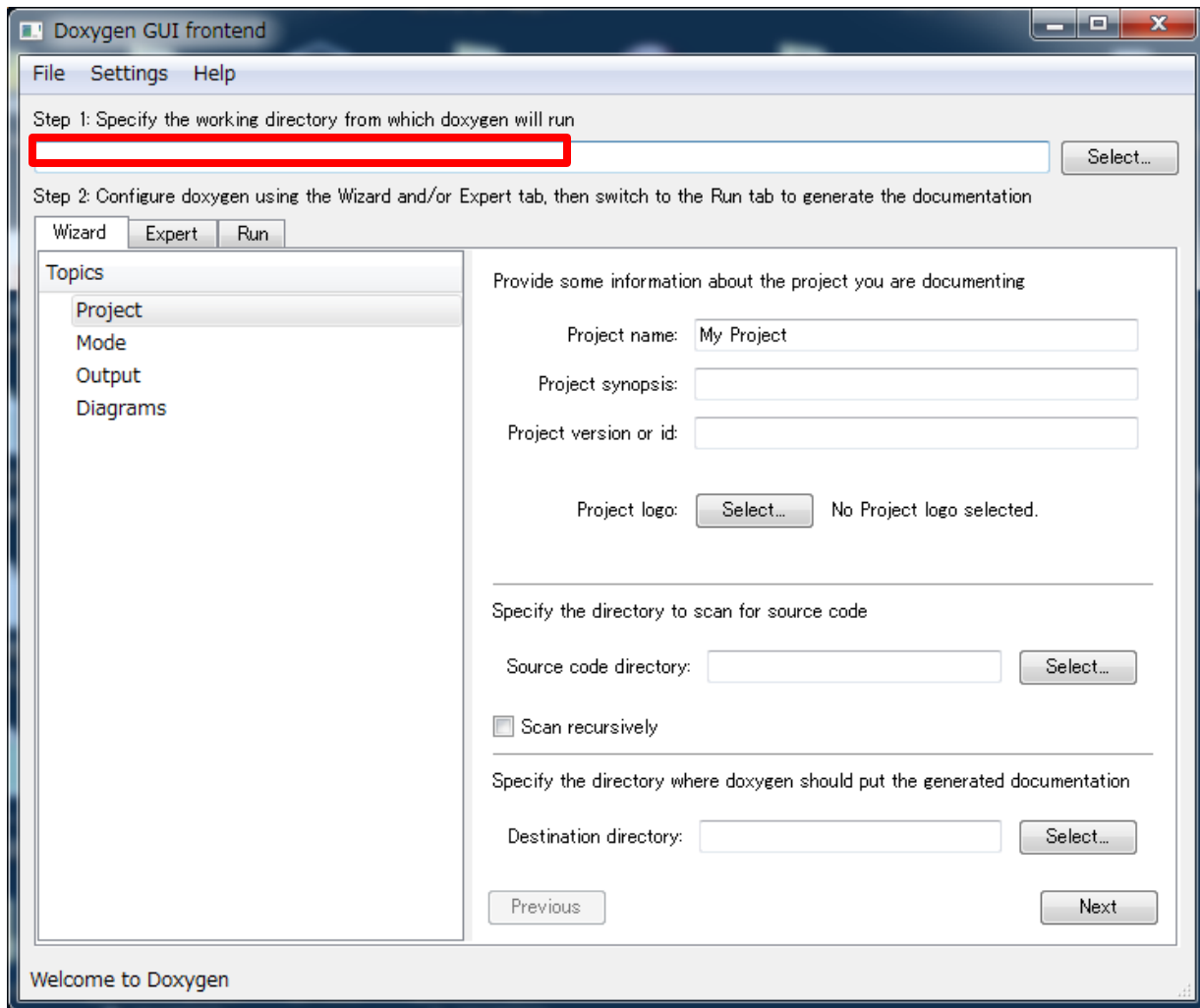
作成者: 宇野

更新履歴

更新日	更新概要	作業者
2017/12/8	・ 新規作成	宇野
	・	
	・	
	・	
	・	

Doxygen の設定

1. Doxywizard を開きます。
 2. Step1 のところに作業フォルダの場所を設定します。(例:C:\Users\Sy.Uno\Desktop\Doxygen)
- ※赤枠の場所に入力します。



3. Step2 のところに入力、設定を行います。

● Wizard タブの入力

・Topics:Project の入力(選択)

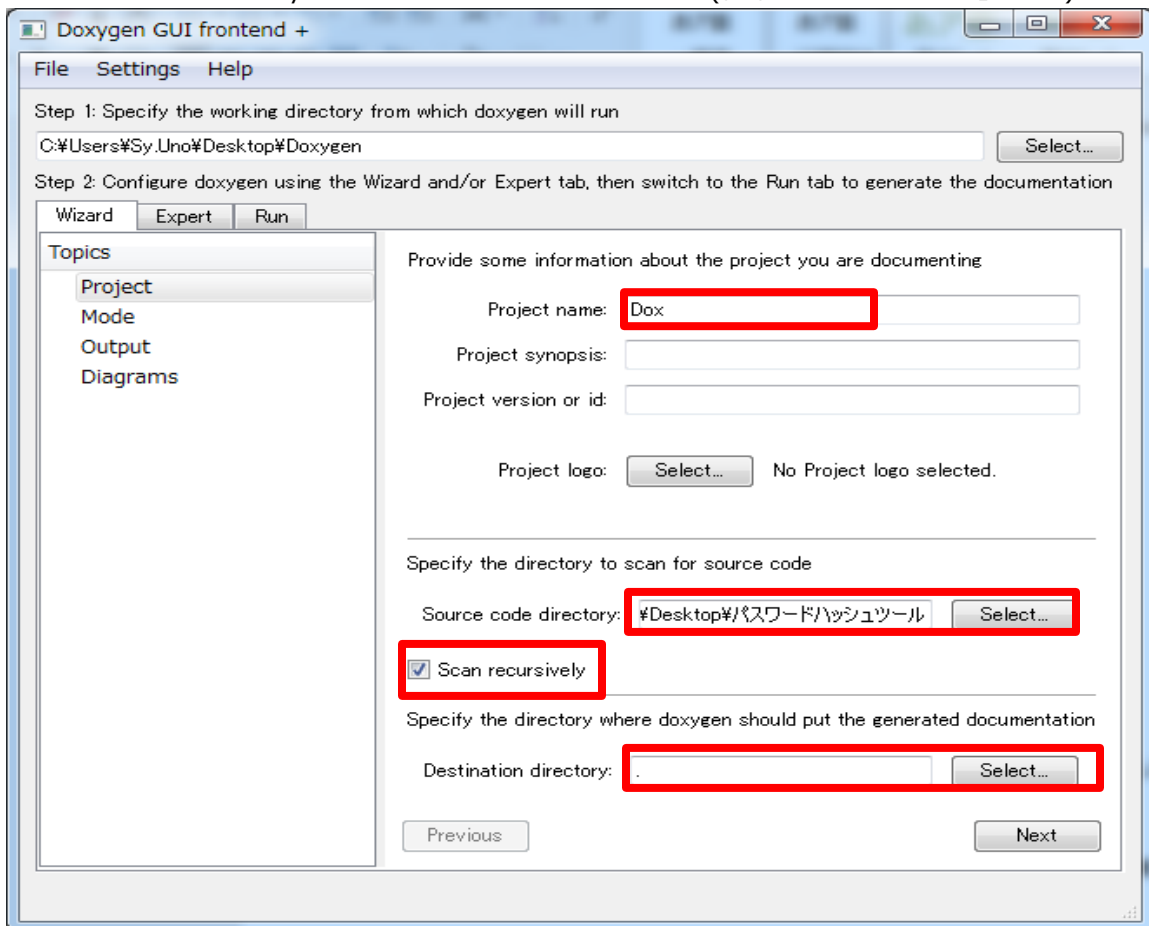
※Project Name は、好きな名前を入力します。

※Source code directory は、ソースコードフォルダのある場所を選択します。

(例: C:¥Users¥Sy.Uno¥Desktop¥パスワードハッシュツール)

※Scan recursively にチェックを入れます。

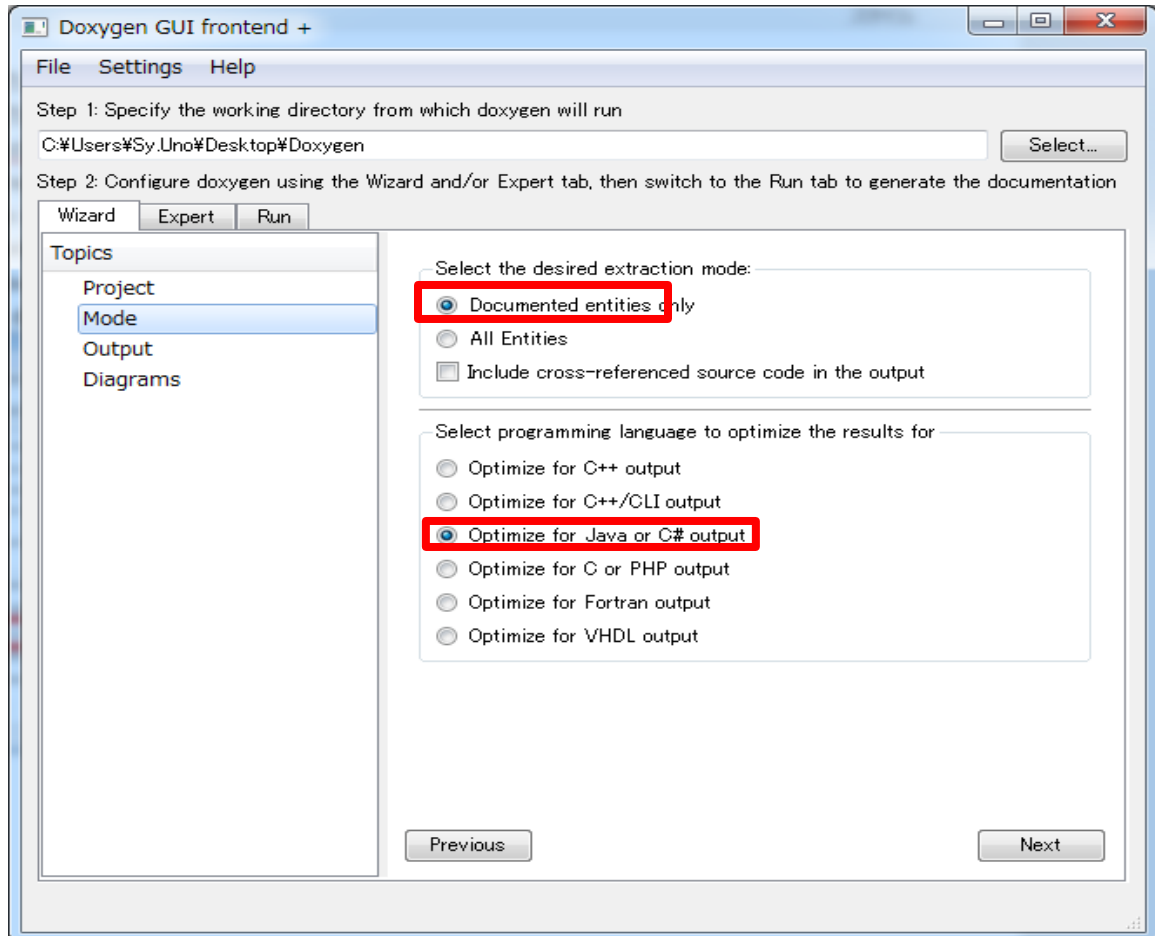
※Destination directory は、出力フォルダの場所を選択します。(作業フォルダと同じなら「.」を入力)



・Topics:Mode の入力(選択)

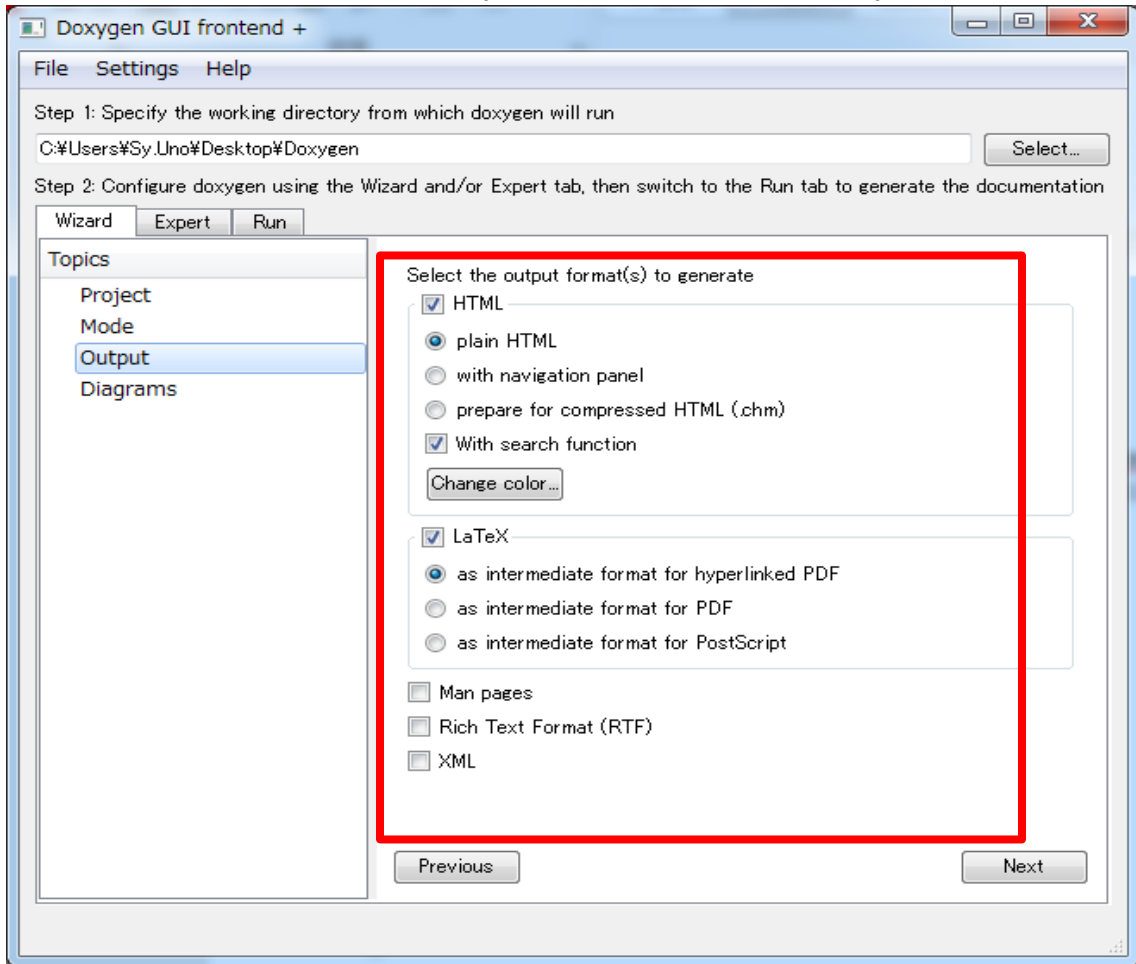
※「Select the desired extraction mode」は、Documented entities only を選択します。

※Select programming language～」は、Optimize for Java or C# output を選択します。



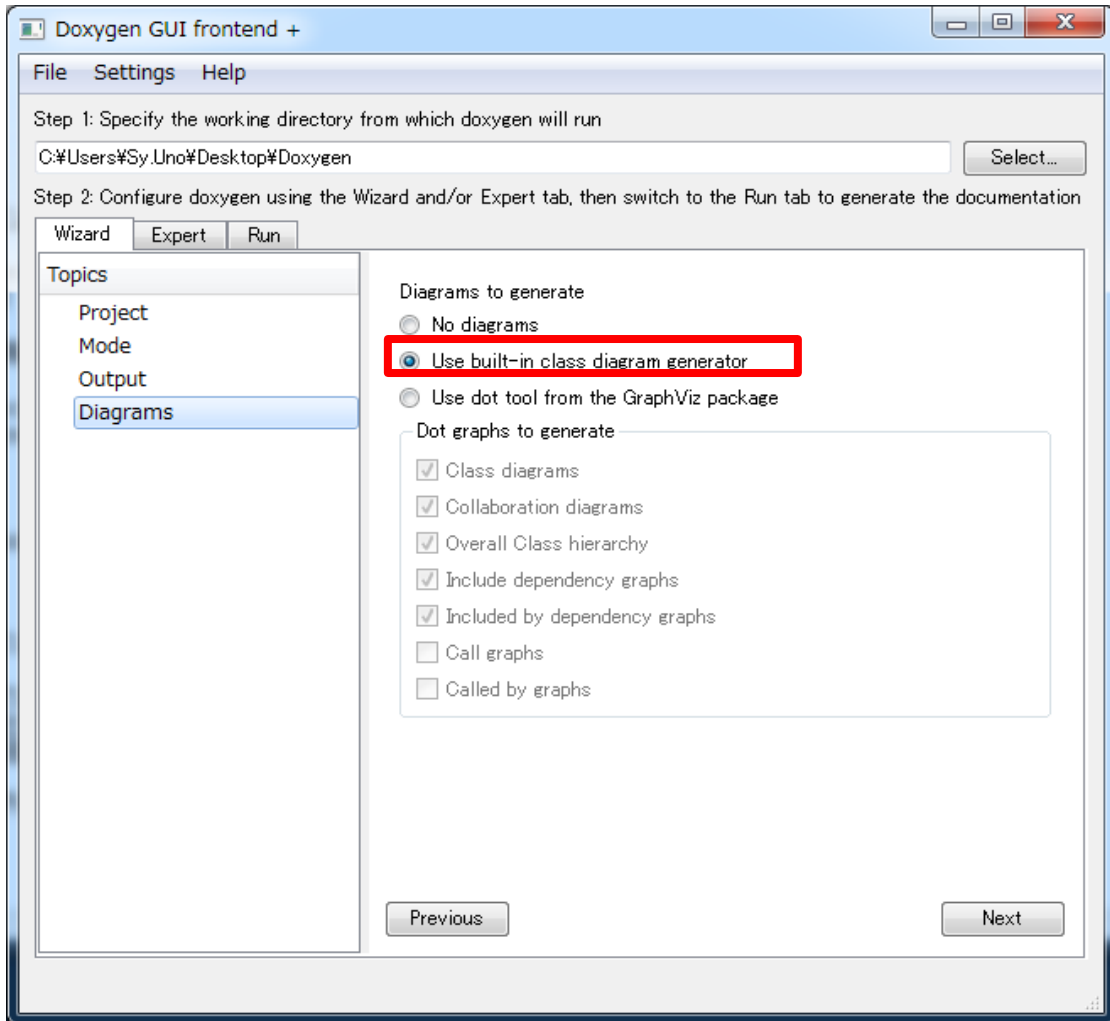
・Topics:Output の入力(選択)

※出力したいファイルの形式等を設定します。(初期状態のままでも問題ありません。)



•Topics:Diagrams の入力(選択)

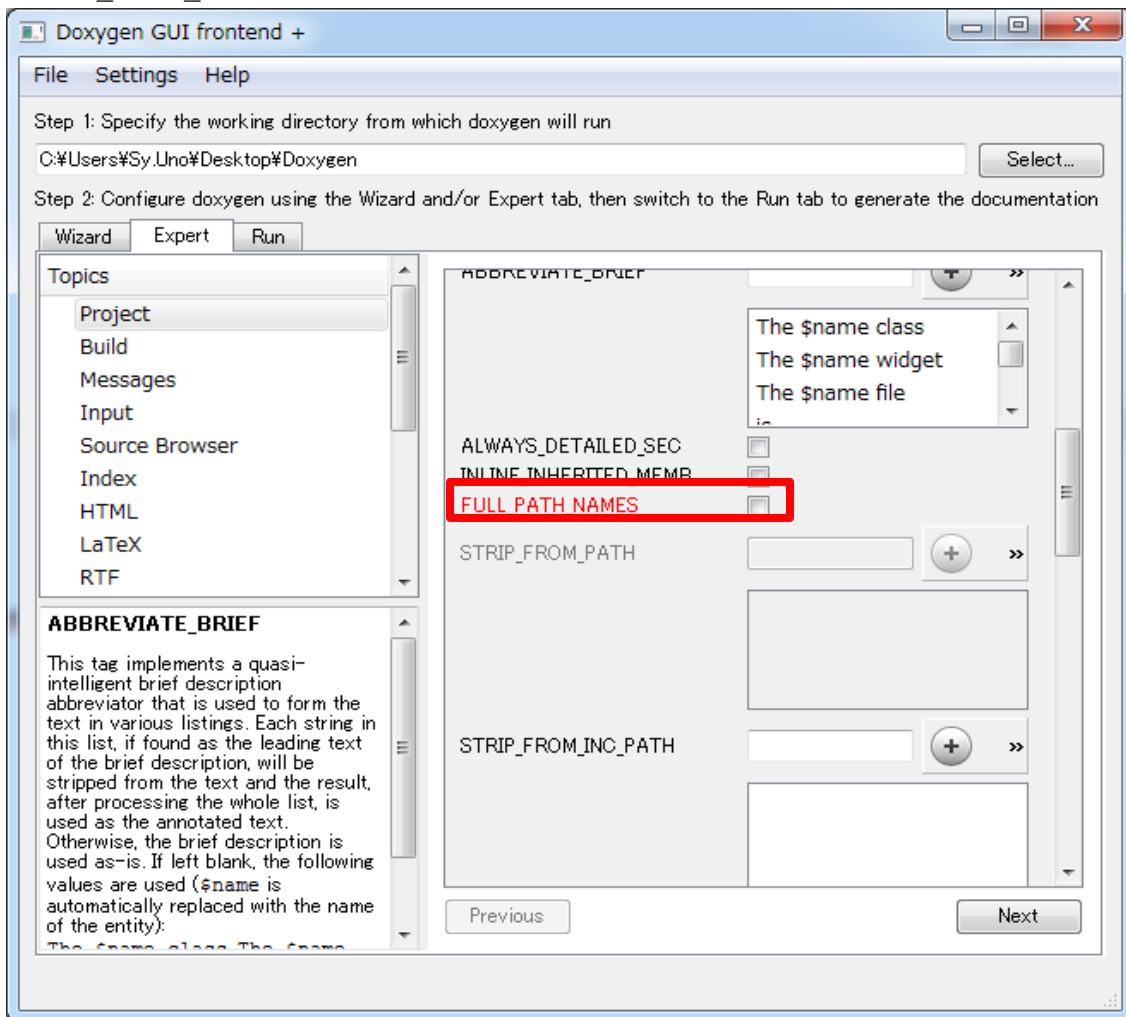
※Use built-in class diagrams generator を選択します。



●Expert タブの入力

・Topics:Project の入力(選択)

※FULL_PATH_NAME のチェックをはずします。

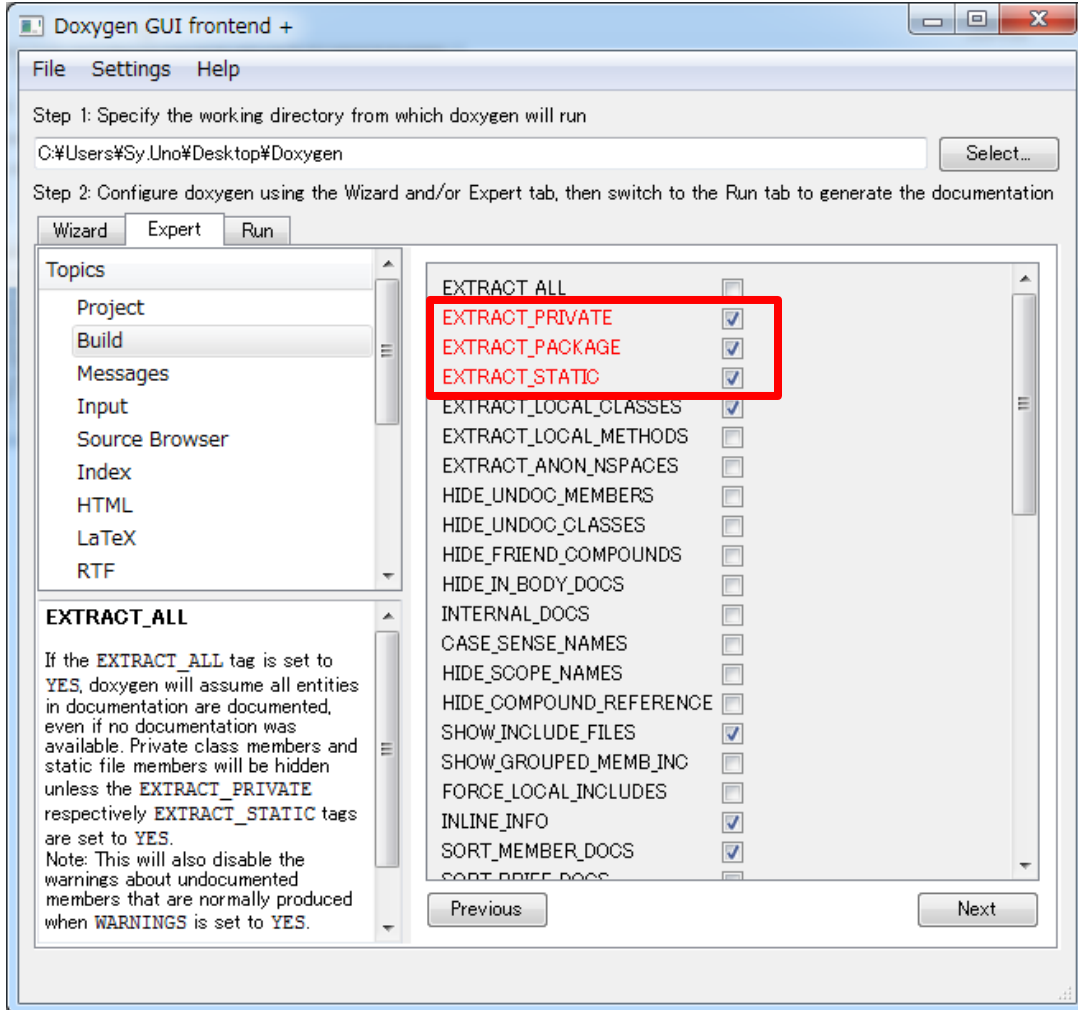


・Topics:Build の入力(選択)

※EXTRACT_PRIVATE(プライベートメソッドの説明を抽出)にチェックを入れます。

※EXTRACT_PACKAGE(パッケージの説明を抽出)にチェックを入れます。

※EXTRACT_STATIC(静的メソッドの説明.)にチェックを入れます。

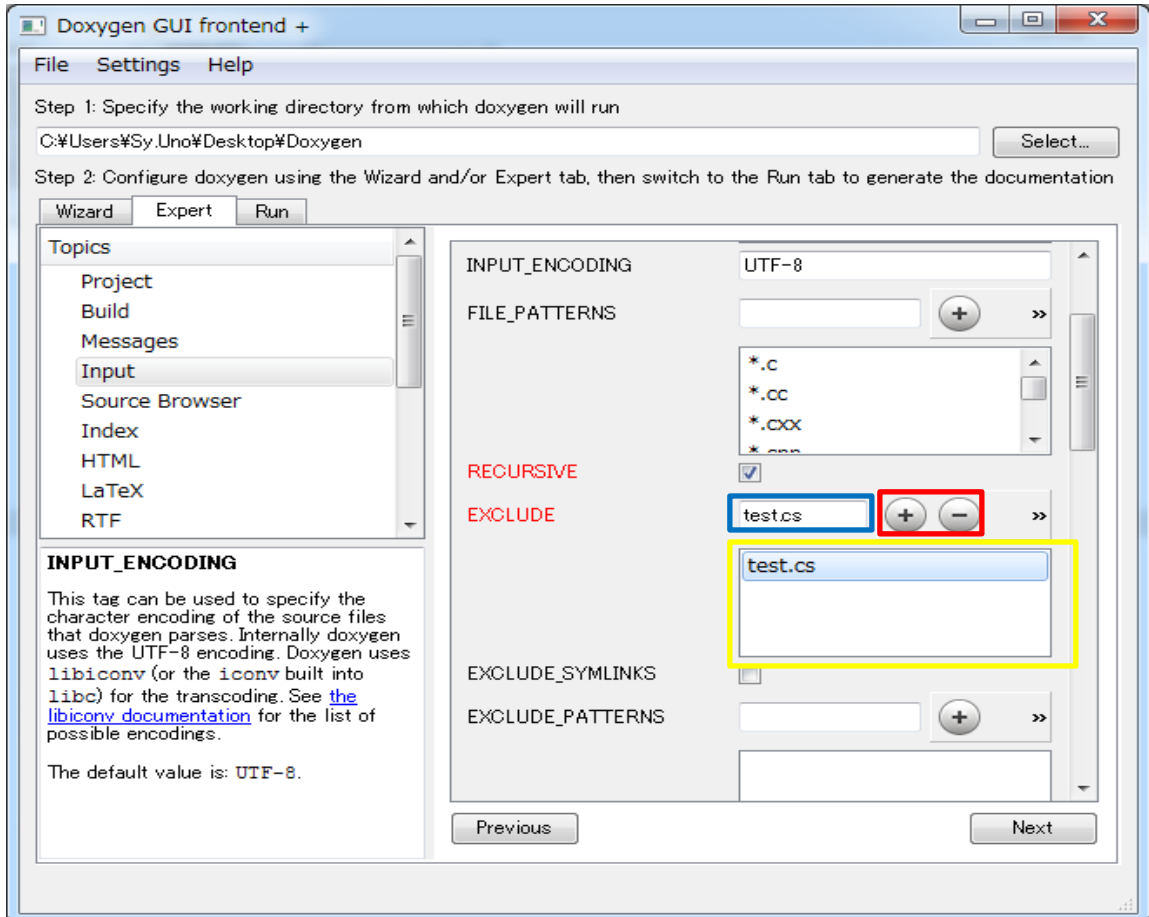


・Topics : Input の入力(選択)

※EXCLUDE に除外したいフォルダやファイルがあれば追加します。

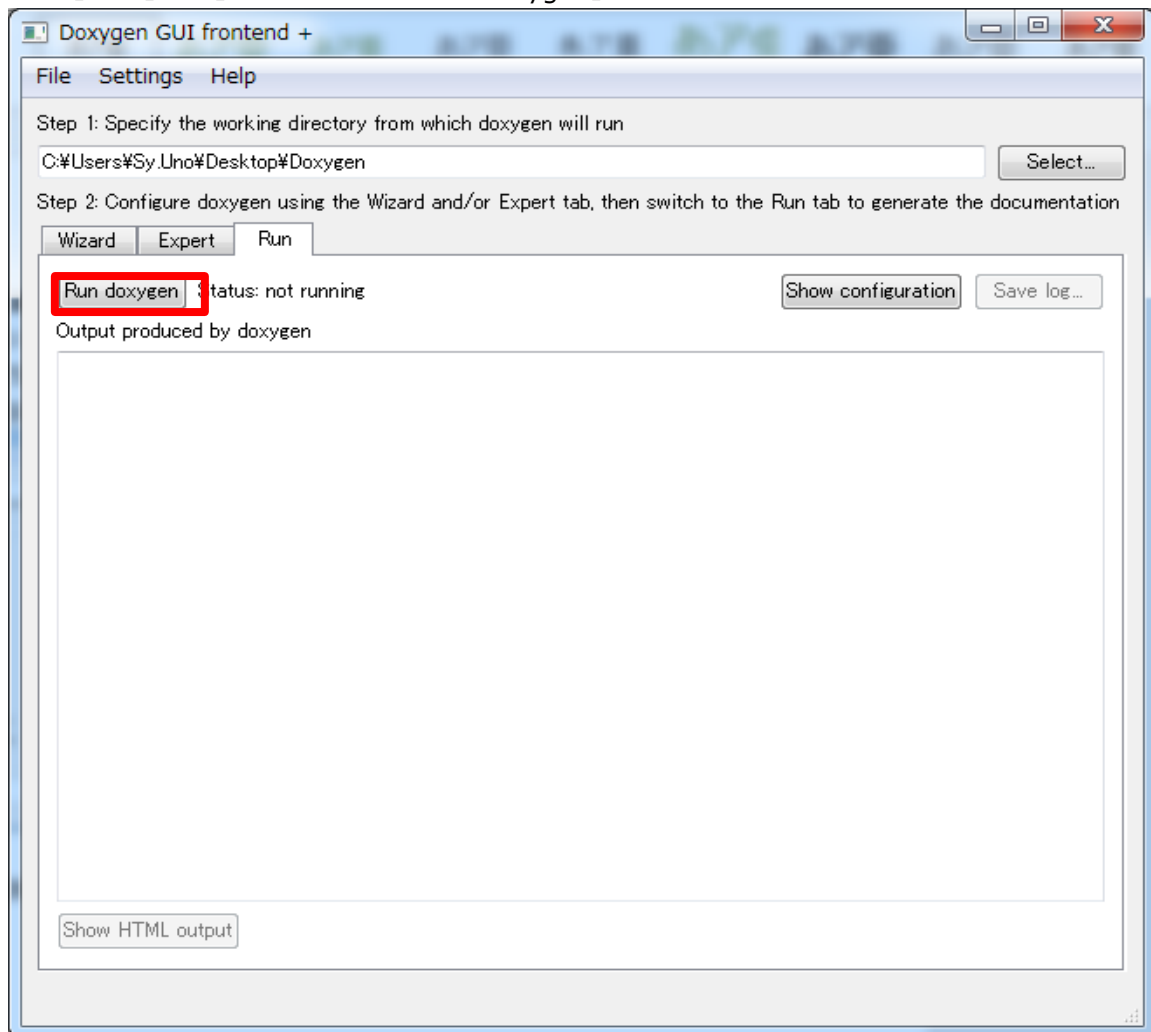
(追加する場合青枠のところに除外したいフォルダ (ファイル) 名を入力して+ ボタンを押下)

(選択したファイルを削除する場合は、黄枠のところの削除対象ファイルをクリックしてマイナスボタンを押下)

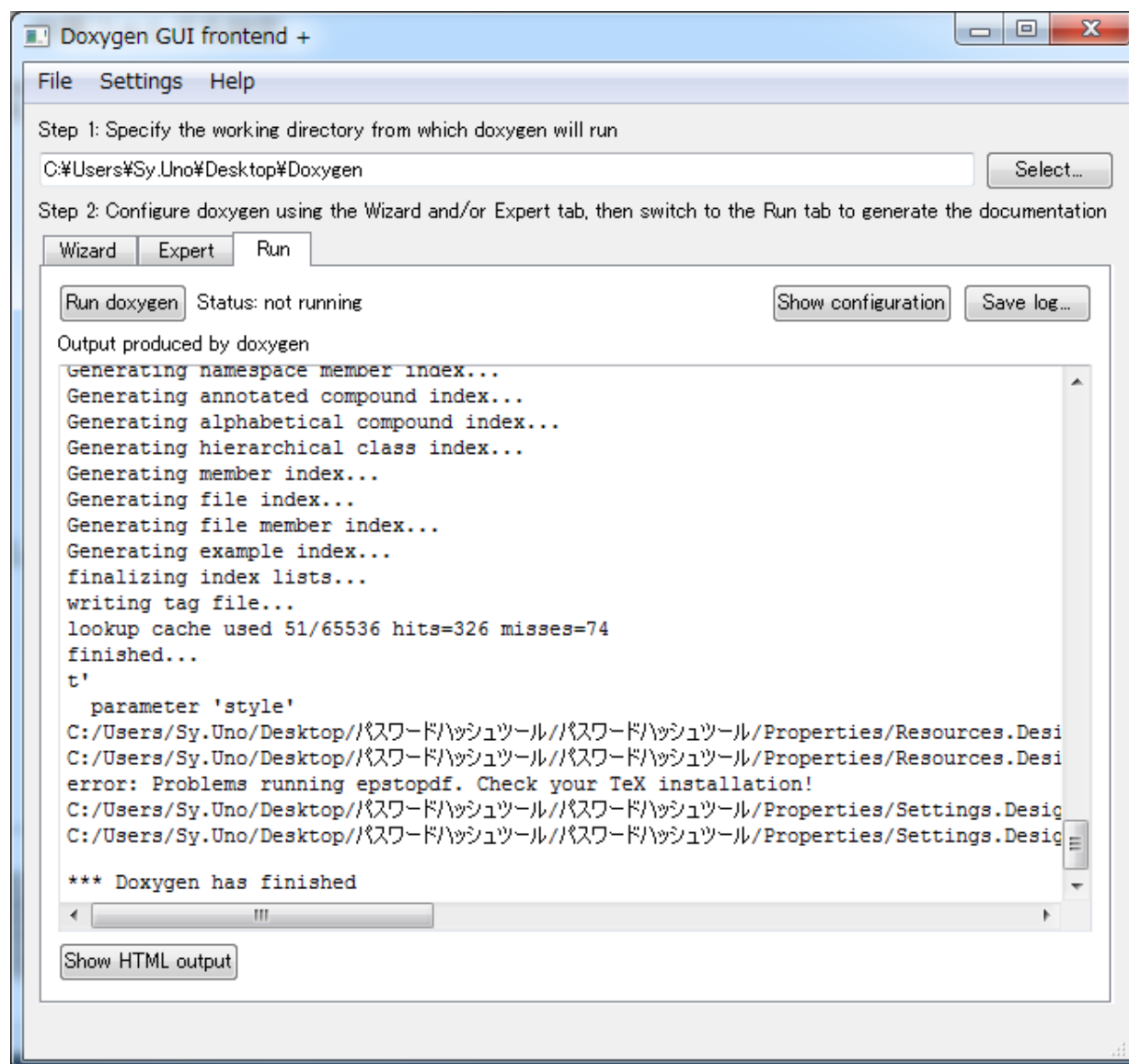


4. 「1.」、「2.」、「3.」の設定が完了したあと、Run タブの「Run doxygen」をクリックしてドキュメントを生成します。

※「1.」、「2.」、「3.」の設定をした後、「Run doxygen」のボタンが押せる状態になります。



5. ドキュメントの生成が完了すると、Output produced by doxygen に生成されたことの旨が追記されます。



※設定を保存したい場合は、「File」>「Save」で保存できます。

※設定ファイル「Doxyfile(拡張子なし)」を開く場合は、「File」>「Save」で開くことができ、保存された設定が表示されます。